事項の整理について

（前回　論点整理）

Ⅰ背景
１．現状
２．問題意識
・ 研究評価部会から示された視点
・ 共通課題
（１） 階層構造の明確化
（２） 言葉の定義
３．定義
（１） 評価の階層
（２） 研究開発を実施する政策目標

Ⅱ課題への対応
１．評価のあり方
（１） 目的に応じた評価
（２） 政策体系の階層構造ごとに適切な評価
（３） 世界水準の視点での評価

２．評価の観点・基準・視点
（１） 研究開発に適した評価の観点
（２） 研究開発の性格に応じた多様な評価基準
（３） 研究活動を支える組織、次世代の人材を育成する組織やプログラムの役割を重視する評価の視点

３．効果的・効率的な評価手法

４.研究開発評価に係わる専門人材の育成
（１） 評価者、評価事務局職員、評価の専門家
（２） ＰＤ、ＰＯ制度改革

（今回　報告素案）

はじめに

Ⅰ基本的考え方
１．目的に応じた評価システムの再構築
（言葉の定義）
２．階層構造と階層間の関係が明確化された評価システム群の形成
（評価の階層、政策目標の事例）

Ⅱ評価システムの当面講ずべき改革の方向性

１．評価の観点・基準・視点
（１）研究開発に適した評価の観点
（２）研究開発の性格に応じた多様な評価基準
（３）研究活動を支える組織、次世代の人材を育成する組織やプログラムの役割を重視する評価の視点
（４）世界水準の視点での評価

２．効果的・効率的な評価手法

３．研究開発評価に係わる専門人材の育成
（１）評価者、評価事務局職員、評価の専門家
（２）ＰＤ、ＰＯ制度改革

４．評価文化の醸成